

# 2025年日本平和大会実行委員会ニュースno.2



発行:2025年日本平和大会実行委員会(事務局=日本平和委員会内) 2025/3/10  
Tel 03(3451)6377 Fax 03(3451)6277 Email:info@j-peace.org

## 今年の基本テーマを確認

第2回実行委員会開催

- 戦後・被爆80年 大軍拡・戦争国家・死の商人国家への道ストップ!
- アメリカ言いなりでなく、核兵器禁止条約に参加し、憲法にもとづく平和外交を
- 核兵器のない、国連憲章に基づく平和なアジアと世界を

\*今後の情勢によって変更する場合があります

7日午後、オンライン併用で第2回実行委員会が開催され、6団体と現地実行委から11人が参加しました。はじめに、東森安保破棄中央実行委事務局長が開会あいさつ。続いて愛知県実行委から矢野県平和委事務局長があいさつと愛知での取り組み状況について報告しました。

今回の実行委員会では、今年の基本テーマを確認する(上)とともに、開催地・愛知から1日目夕方の愛知の諸団体による「愛知から見る平和の今～学びと交流の集い」のテーマ案が紹介され、2日目午前の中央団体による分科会については、テーマと分担が提案されました(2ページ目)。



### 東森安保破棄中央実行委事務局長の開会あいさつ(要旨)

今日の実行委員会は、企画の主な内容を検討していただく会議になります。

世界は、トランプ米政権による国連憲章を無視したディール外交や貿易戦争で不安定な状況にあり、日本への軍事費増額要求も表面化しつつあります。

2月7日の日米首脳会談と共同声明は、トランプ政権の掲げる政策に日本が無批判に追随する立場を表明したものです。共同声明は、「インド太平洋及びそれを越えた地域の平和、安全及び繁栄の礎であり続ける」と、これまでの「インド太平洋地域」とされてきた地域をペルシャ湾から中東まで自衛隊も行くこととなります。そして、より実戦的な訓練・演習を通じた即応性の向上、兵器の共同生産・開発などを「さらに強化していく」としています。これは、日米軍事一体化による戦争態勢づくりを一段と強化することの表明です。

自衛隊は今年、陸海空3部隊を一元的に指揮し、作戦に関わる米軍との調整を担う「統合作戦司令部」を発足させるとしています。米側はこれに合わせて、在日米軍を再編し、作戦指揮権を持たせる「統合軍司令部」を横田基地に新設する方針で、自衛隊は実質的に米軍の指揮下に入ることになります。

共同声明は、「27年度よりのちも抜本的に防衛力を強化していくことに対する日本のコミットメントを歓迎」と述べ、「5年間で43兆円」後もさらに大軍拡を進めることを約束しています。トランプ大統領に国防次官の指名を受けているコルビー氏は日本にGDP比3%を要求しており、そうなれば年18兆円の途方もない軍事費となり、絶対に認められません。

さらに辺野古新基地については、これまで共同声明の慣用句であった「普天間飛行場の継続使用を回避する唯一の解決策」という文言がアメリカの意向で消されたと沖縄タイムスなどで報道されています。これは、辺野古ができて普天間は使い続けるという在沖米軍幹部の最近の発言と一致します。この点を説明しない日本政府は、文字通り「アメリカ言いなり」です。

今日のニュースで、トランプ大統領が「我々は日本を守らなければならないが、日本は我々を守らない」と発言したと報道されています。トランプ大統領は2019年6月29日、大阪で「もし日本が攻撃を受ければ我々は日本のために戦う。米国が攻撃を受けても彼らに同じことをする義務はない。公平ではない」と言い、先立つ6月25日には「日米安保条約の破棄を検討している」と述べています。トランプ発言のねらいは、自衛隊がさらに軍備を強化し、世界のあらゆるところで「米軍と肩を並べて」戦うことを求めていることにあります。重要なのは、「米国への攻撃」とは、米国本土へのものではなく、米軍が侵攻している世界各地のことだということです。これはある意味、日米軍事同盟の根本を国民的に議論するチャンスとも言えます。大軍拡・戦争国家づくりを許さない運動を進めながら大会をつくっていきましょう。

## ■新たに確認された企画

○国際シンポジウム 10/18の14～17時にオンラインのみで、有料企画として開催します。

\*会場と通訳、海外代表をつないでの開催は、技術的に困難が多いため

○オプション企画 10/24(金)午後、愛知県実行委員会による、愛知県の基地・軍需産業・戦争史跡等をめぐるオプション企画が予定されます。詳細は今後決められていきます。

### 2日目午前の分科会案 \*テーマは現時点の趣旨として \*( )は担当団体(一部案)

- (1) 戦後80年 — 平和な北東アジアを実現するための日韓市民の交流(日朝、平和委)
- (2) 大軍拡・戦争国家づくりストップの運動の交流(安保破棄実行委、全労連)
- (3) 軍事費削って暮らし、医療、教育にの運動の交流(全商連、医労連、生協労連)
- (4) 若者を戦場に送るな — 自衛隊募集への自治体協力問題など(自治労連、全教、平和委)
- (5) 核兵器禁止条約に参加する日本を — 核軍事同盟反対の運動も(原水協、民医連)
- (6) ジェンダー平等と戦争国家づくりを考える(新婦人、平和委)
- (7) 台湾の平和運動家たちとの交流(日中、AALA)
- (8) 入門分科会「日米安保条約はなくせるの?どうすればなくせるの?(案)」

(青年企画担当団体)

★次回実行委員会には、担当団体からテーマを提案して下さるようご準備願います。

### 1日目夕方の「愛知から見る平和の今～学びと交流の集い」テーマ案

- |                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| (a) 愛知の兵器産業と大軍拡    | (b) 戦争と医療を主題とした企画     |
| (c) 愛知・名古屋での空襲と戦跡  | (d) 地方自治と平和行政         |
| (e) 気候危機・環境問題      | (f) 沖縄と連帯した平和めざす草の根運動 |
| (g) 平和を求める高校生の運動交流 | (h) 愛知と全国の青年交流企画      |

※いずれも愛知県実行委員会が準備の中心を担います

## ■今後の予定

第3回実行委員会 4/14(月)15時～

・全体集会(開会、閉会)の概要および分科会テーマの検討

学習パンフは、7月初めに発行できるようにします。